

青森県と道南を結ぶ「北海道新幹線」が地域を変える力に！！

つながる！ひろがる！
北海道新幹線

2016年3月26日に北海道新幹線
新青森・新函館北斗間が開業！
2030年度末には札幌に新幹線が
やってきます！

北海道新幹線 H5系

- 北海道新幹線
- 東北新幹線
- 北海道新幹線 (建設中)
- 在来線
- 第3セクター鉄道



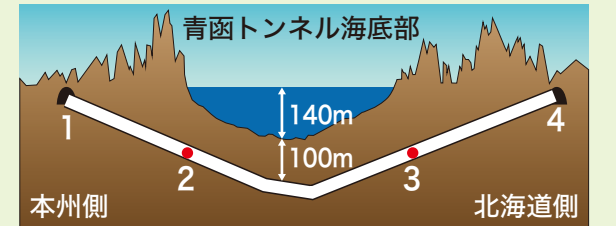
函館新幹線総合車両所

七飯町には新幹線の総合車両基地があり、各種検査や洗浄の施設などがあります。この総合車両基地は、博多総合車両所、新幹線総合車両センター（仙台）、熊本総合車両所、白山総合車両所に次ぐ、全国で5番目の総合車両基地となっています。



青函トンネルの概要

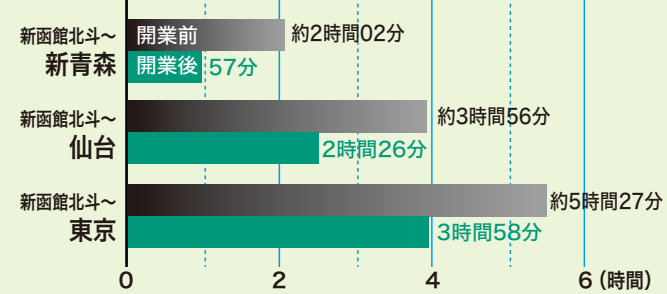
青函トンネルは、1988年に完成した青森県と北海道を結ぶ53.8kmの海底トンネルです。新幹線は、通常、在来線とは別の線路をつくるのですが、北海道新幹線がとおる青函トンネルとその前後の区間約82kmは、新幹線と在来線と一緒に使う「共用走行区間」になっており、レールの幅が違いますので、3本のレールが敷かれています。この「共用走行区間」は日本の新幹線ではここだけです。



北海道新幹線で本州が身近に！

北海道新幹線は、東北新幹線の新青森駅を起点として、青函トンネルを通過し、札幌市に至る延長約361kmの新幹線鉄道で、関東・東北圏などと直結する北海道の大動脈として地域発展に大きく寄与する路線です。このうち2016年3月26日に開業した新青森・新函館北斗間は、新青森駅を起点として、奥津軽いまべつ駅、木古内駅を経て、新函館北斗駅に至る約149kmの路線です。

●所要時間(最速)



H5系車両のスペック

- 編成・・・10両
(1～8号車：普通車、9号車：グリーン車、10号車：グランクラス)
- 定員・・・715席
(普通車：642席、グリーン車：55席、グランクラス：18席)
- 最高速度・・・320km/h
北海道新幹線区間の営業最高速度は260km/h
(在来線との共用走行区間は青函トンネル内160km/h、トンネル外140km/h)

H5系の特徴は？

東北新幹線のE5系がベース。中央の帯にはライラック、ルピナス、ラベンダーを想起させる紫色(彩香パープル)が施されています。



内装にも特徴があり、普通車の壁や天井の一部には木目を使用されていて、通路のカーペットには、雪の結晶が描かれています。客室のブラインドには縄文土器の文様や、アイヌ文様などをヒントに得た柄がデザインされています。

H5系のシンボルマーク



「北海道の雄大さ」と北海道へも飛来する「シロハヤブサ」がモチーフ。1, 3, 5, 7, 10号車の両側面に配置されています。